

市民活動センター たちかわ通信

市民活動センターたちかわは、ボランティアやNPO・地域活動などあらゆる市民活動をサポートするセンターです。

2004.3 Vol.12

編集・発行

社会福祉法人 立川市社会福祉協議会・市民活動センターたちかわ

〒190-0013 立川市富士見町 2-36-47 Tel.042-529-8323 Fax.042-529-8714

E mail aiaivc@whi.m-net.ne.jp

URL <http://act.annex-tachikawa.com> (登録団体募集中です！)

開所日・時間

(月)～(金) 8:30～19:00 (土) 8:30～17:15 日・祝日はお休みです。

こども達は人と人、人とまちをつなぐ接着剤



若葉小学校の新たな取り組みとはいったいなんでしょう？(2ページより)



よくまとめられた報告書



新校舎に移っての東京賢治の学校(3ページより)

入り口の看板も味わいがあります



今月のもくじ

注目は・・・
市民活動センターたちかわの
助成事業の募集が始まりました。
(P7へ)

P2 新しい「まなび」のかたち
P3 「まちネタ ひとネタ」
P4 「イベント・講習・講座情報」
P5 「ひと・モノ・募集」

P6 「助成金情報」
P7 「市民活動センターより」
P8 「市民活動センターより」

情報をお寄せください！ みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください



こども達は人と人、人とまちをつなぐ接着剤

立川市立若葉小学校

<暗くなり始めた夕刻>

「こんばんは。皆さんよく来てくださいましたね。」立川市社会福祉協議会事務局長の河野に挨拶された、若葉小学校のこどもたちは少し緊張気味に「こんばんは～」と返す。学校が終わって暗くなり始めた夕方の時刻、担任の先生と「総合的な学習の時間」で同じグループとなった児童のみなさんが立川市総合福祉センター（富士見町）まで足を運んでくれた。

表紙の写真は「総合的な学習の時間」を使って共同募金について調べてきた児童たち（4年生と6年生）。調べ学習だけでなく実際にまちに出て募金活動を行った成果を、自分たちの住んでいるまちの社会福祉協議会に届けに来てくれたのだ。

<初めは声が出なかった>

実際に街頭に立って募金活動を行った児童は、通勤通学のラッシュに間に合うように朝6時15分。学校に集合して駅に向かった。「通勤・通学のみなさま！赤い羽根共同募金にご協力を！」街頭に立って募金を始めて最初のころはなかなか声が出せなかったとのこと。駅のほか自分達のまち若葉町でも街頭



立川駅にて活動する子どもたち

募金を実行。「町の人が声をかけてくれたのがうれしかった」「若い人も協力してくれて、やさしさを感じる事が出来てよかった」と振り返る。

<まちを見直してみること>

「総合的な学習の時間」はこども達が生きる力を身につけるための学習。6年生担任の浅川教諭は「卒業する学年としてこのまちをもう一度見直してもらいたかった」という。そこでこの学習の軸として「まちの様々な活動をしている方の姿をみて自分達の生き方の中で活かしてもらおう」ことを念頭にまちに出た。「こどもからお年寄りまでいろいろな立場の人の想いや心を、こども達に分かって欲しい。相手の立場を分かるようになった自分自身のよさにも自信を持ってもらいたい。またそういったことを感じ取れる仲間ともお互いのよさを認め合えるようになってほしい」と「総合的な学習の時間」での取り組みへの想いを語る。



地域のスーパーの前でも

4年生担任の福原教諭は「総合的な学習の時間」で学習することについて「地域の人と出会えること。人から学べることを大事にしてきた。こども達は教えていただいたものを正面から受け止めることが出来る。出会った人から受けた影響を、自分の学習に活かしてものにしていくことが出来る。」とその効果を挙げる。

<子どもたちに寄り添うボランティア>

そのような学習の取り組みで欠かせないのが地域の大人や学習支援ボランティアの存在。

募金をしてくださった買い物帰りのまちの方に「何に使われるの？」と問われて口ごもってしまった場面もあったという、しかしその場を取り繕うような手助けはせず「ちゃんと自分達で説明できるといいね。」と指導をする。同じ学習をしている側としてこども達に投げかける。小グループに分かれて、異なったテーマでの学習が効果的に機能するためには、各テーマそれぞれに寄り添ってくれる大人が必要となる。若葉小学校では児童の「気づき」を引き出すため、これまで協力してくれている地域のおとな達のほかにも、協力してくれる方を募って、地域の方や学年を横断する学習支援ボランティアを組織化してきたのだ。

<環境の中すべてで教育>

前出の福原教諭は続ける「もうひとつ大事なことは教師・保護者・地域がそれぞれが単独で子どもを育てるのではなく、こども達を中心として関することで、保



学習支援ボランティア室

護者も同じ地域の別の大人と接点が出来てくる、そうして地域で手を携えるようになってきた。結果、こども達が生活する環境の中すべてで教育が行われる。こども達にとってはと

ても幸せだと思う。」とこの取り組みの持つもう一つの意味を教えてくれた。

「こども達のために」を共通のテーマとして地域の人がつながり、結果的に「まちづくり」になっているのだ。

実際にこの学習支援ボランティアで関わっている保護者の吉野さんは、支援するこどもの学年が自分の子どもと違って「目の前のこども達が変わるのが目に見えて分かる。それが楽しくて参加する」「これまでは地域の協力者の方とも顔が繋がっていなかったが、「ふれあいフライデー（交流給食）」など協力してくださる方とも挨拶が出来るようになった」とこどもへの効果だけではなく地域のおとなの接点も実感しているという。



この腕章が目印です

そのような地域の方の取り組みに学校も応える形で新たな活動の拠点も校舎に整備されてきた。「ホリデースクールわかば」など積極的にこども達の環

境を作り上げてきている若葉町のいまの姿に今後のまちづくりのヒントが見えるように思われた。

(し)

特定非営利活動法人 東京賢治の学校

<自分たちの手でつくっていく>



校舎も手づくりのぬくもり

目の前に広がる多摩川沿いの土手に立ってみた。こども達を使いやすいように、少しずつ手を加えているというプレハブ校舎を見下ろしてみる。優しい色のカーテンが揺れ、木目の机やロッカーがこじんまりと並んでいる。

「東京賢治の学校」は親、教師、市民が作る自主的な学校。宮沢賢治とルドルフ・シュタイナーの人間観を根底にした教育を実践している。少人数でそれぞれの年齢の成長に合った独自のカリキュラム。芸術活動や自然からの学びも大きな特徴である。もちろん目の前に広がる多摩川も大切な学習材料のひとつ。

「東京賢治の学校」は自主学校であるため、法律的には認められていない。

幼稚部・小中学部合わせて60人程の生徒達は各自の地元公立校に籍はおきながら、いろいろなまちから、通学している。

<「私たち大人も学び続けていく場です」>

そして、賢治の学校のもうひとつの大きな特色。それ

はこの学校が「こどもだけの学びの場ではない」ということである。全国から教育や環境等に関する講座や実習・ワークショップに休日を利用して参加する人も多い。

教員として、親としてこの学校に関わる

大人たちは「未来のために、こども達に何が必要か、自分は何をしていくのか、日々、問いなおしながら」学校づくりをしている。ただ預ける・預かるの関係ではもちろんない。

教育内容について、学校運営について、みんなが参画することを求め合っている。スタッフの竹内さんは言う。「ここは本当の意味での生涯学習の場。こどもも大人も学びに終わりはありません。毎日がドラマの日々議論と試行の連続。夜中までとことん話し合ってみたりなんてこともよくあること。」「ひとりのこども達にとって何がたいせつであり、人間をどう見るかという人間観を大事にする教育です」試行錯誤しながら多くの人たちに支えられ、新しい学びを自分達の手で求め生み出し続けているのである。(え)



のびのびとした校舎で・・・

<子ども達は人とまちをつなげる接着剤>

同じ立川というまちの中で、異なったスタイルの教育を享受しているこども達。

しかし、若葉小学校のこども達の学びにも、賢治の学校のこども達の学びにも共通していることがある。

それは、こども達を取り巻く大人や地域をおおいに巻き込み、新たな力の引き出し役になっているということである。

学びはこども達のためだけにあるものではない。そして、こども達はまさに人と人、人とまちをつなぐ接着剤である。(え)

情報コーナー

～イベント・講習・講座・ボランティア情報など～

ここに掲載されている情報の詳細に関しては、直接主催団体にお問い合わせください。

このコーナーは、市民活動やボランティア活動に関するイベント等の情報を毎月掲載しています。またこのコーナーへ掲載する情報も随時募集しています。掲載ご希望の方は毎月20日までにご連絡ください。

イベント・講習・講座

LD児「僕のことわかって！」 PartXI

今年の講演会は、『軽度発達障害を持った子どもたちをどう育てていったらよいのか？周りの人の在り方や親の在り方』また、『多感な時期を迎える子どもたちの進路選択』について、教育現場でご活躍のお二人の先生をお招きしてご講演していただきます。

日時：平成16年3月6日・13日(土)14:00 - 16:00
場所：保健福祉センターあいぼっく 1F 視聴覚室
内容：6日「脱！孤育てを目指して」

13日「社会参加を目指した進路指導のあり方」

費用：無料 保育：なし

申込方法：電話又はファックス・メールにて、下記の内容と併せてお申込み下さい。氏名 住所 電話番号 E-mailアドレス 所属(職業など) 定員になり次第締切らせて頂きますので、お早めにお申込み下さい。また、開演後の入退場はご遠慮下さい。

E-mail: y-yoshino@msi.biglobe.ne.jp

TEL/FAX: 042-542-2788 (吉野)

主催：LD児・者を考える会「くじら」

<http://member.nifty.ne.jp/LD/>

じょーだん

じょーだん

女男で笑おう！女男で変わろう！

～桂 文也のジェンダーブレイク～

アイムフォーラム2004では男女共生社会をテーマに講演を行います。

日時：平成16年3月7日(日)13:00 - 16:00

会場：立川市女性総合センター・アイム 1Fホール

定員：196名・手話通訳、保育あり(保育は要予約)

参加費：入場無料

問合せ・申込み：立川市女性総合センター・アイム

電話042-528-6801 FAX042-528-6805

主催：立川市・アイムフォーラム実行委員会

高齢期のための体力作り教室

現状、体力の衰えを感じている方、今後の体力の衰えに不安を感じている方この機会に高齢期の体力作りについて一緒に考えてみませんか！当日は「簡単な健康測定」、「やさしい健康体操」の二部構成となっております。軽い運動ができる服装と靴でご参加く

ださい。

日時：平成16年3月11日(木)10:00 - 12:00

会場：さかえ会館(立川市栄町4-6-2 042-529-6546)

対象：体力低下の改善を目指している方

定員：30名(先着) 参加費：無料

講師：健康運動実践指導士(立川市健康推進課)

主催・申込み先：

立川市羽衣住宅介護支援センター(担当：原、長畑)

電話042-523-5612 FAX042-523-5613

自閉症の理解と援助

～何故自閉症はわかりにくいのか～

自閉症児・者のご家族や日頃より彼らと接し支援している方々だけでなく、多くの人に広くご参加いただき、自閉症の理解を深めるきっかけになれば幸いです。自閉症児・者ご本人のウェイトングループをご用意しています。10名までです。ご希望の方はご予約の際にお申込みください。

日時：平成16年3月13日(土)10:30 - 12:30

会場：白梅学園短期大学 講堂

講師：石井哲夫(東京都自閉症・発達障害支援センター センター長)

定員：300名(要予約)

参加費：無料

問合せ・申込み：

東京都自閉症・発達障害支援センターTOSCA

電話03-3426-2318 FAX03-3706-7242

E-mail:tosca@kisenfukushi.com

家庭で介護をしている方の交流会

アロマテラピーで心と身体をリフレッシュ

アロママッサージで日ごろの疲れを取った後、おしゃべりとお菓子で楽しいひと時を過ごしましょう。当日は看護と介護の専門家があなたの悩みにアドバイスします。

日時：平成16年3月14日(日)14:00-16:30

会場：立川市女性総合センター・アイム 第1学習室

講師：隅倉芳子先生(元 東大和訪問看護ステーション 所長)

参加費：1,000円 締切：3月10日

申込方法：電話かFAXで042-564-0011

問合せ先：シニアメイトサービス(担当：藤崎)

情報をお寄せください！ みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください

今から考えよう！安心できるシニアライフ

ーほんとは身近な「成年後見制度」ー

高齢期を迎えた方が、さいごまで安心して自分らしい生活をおくれるよう手助けしてくれるこの制度を、ビデオを使ってわかりやすく説明いたします。その後、相談会も開催いたしますので、お気軽にご参加下さい。

日時：平成16年3月17日（水）13：30 - 16：00

会場：立川市総合福祉センター

立川市富士見町2-36-47

参加費：無料

問合せ：電話042-536-5392(近藤)

主催：「成年後見制度 説明会 運営委員会」

地域で子どもの育ちを支えるために

今何が求められているのか

「一人ではできないことをネットをつくって子どもの育ちを支えるにはどうしたらいいのか」を一緒に考えていく機会をつくらうと学習会を企画しました。年度末に向けて多忙な時期ですが、ご都合を

付けてぜひご参加下さい。

日時：平成16年3月20日（土）10：00 - 12：00

会場：女性総合センター・アイム 第三学習室

定員：50名（保育あり・申し込みはお電話で）

主催：立川市子ども家庭支援センター

電話042-528-6871

2004年 春を呼ぶ パソコン教室

今年はパソコンを是非覚えたい、頑張ろうと思っているあなたに！熟年の方々大歓迎！片麻痺の方々に！メールでの出会いがあります。チャレンジしてみませんか？

日時：平成16年4月7日（水）～5月19日（水）全6回

13：00 - 15：00

場所：立川市総合福祉センター 2階

費用：1,500円（テキスト代・資料代）

筆記用具をご持参ください。

問合せ・申込み：NPO法人 片麻痺ネットワーク

電話 186-042-344-4033（事務局：田淵）

メール tabuti_y@za2.so-net.ne.jp

ひと・モノ・募集

蛍を蘇らすためのお手伝いをお願いします！

“富士見町に蛍を呼び戻す会”では『カワニナ及び蛍育成特定用水路』の清掃・整備を行っております。今年も3号～4号地の清掃を行いますので、ご協力とお手伝いをお願いします。なお、清掃後“お花見”を兼ねて懇親会を行いますのでご参加をお待ちしています。

<清掃・整備>

実施日：平成16年4月4日（日）10：00～12：00

集合場所：農業試験場正門前

<懇親会>

時間：12：30～14：30

参加費：1,000円（弁当・飲物代）

問合せ：tel/fax 042-523-1867（山本英樹）

日光国立公園 / 鬼怒川温泉郷

ホテル“ニューおおる”へいきませんか！

本年度「親の会」1泊2日の旅行は、日光鬼怒川温泉へ行きます。今年は“さる年”、日光猿軍団のかわいいお猿さんを見学し、鬼怒川の渓谷を眺めながら、のんびりと露天風呂（貸しきり露天風呂あり）。お部屋からは、四季おりおりの自然をお楽しみいただけます。

そんな旅行に同行して下さるボランティアを募集しています。

日時 平成16年3月20日（土祝）～21日（日）

内容 障害児者の見守り、介助など。

コース貸し切りバスにて7：00立川駅北口

「たましん本店前」出発、日光猿軍団見学の後、ホテルへ、翌日17：00「たましん本店前」解散予定。

参加費 ボランティアの方は無料

募集人数 2名（男性を希望）

詳細お問合せ・お申込み

（幹事）下田 TEL.042-521-3827

視覚障害者のための

「料理教室」講師募集！

視覚に障害をお持ちの方が料理教室を企画しております。ガイドヘルパーと一緒に勉強いたしますので特別な配慮は必要ございません。下記の開催日程でご協力が可能な方はご連絡をください。

日程：平成16年6月～11月までの全5回

日時は講師の都合により応相談。

応募条件：栄養士など食について知識がある方。

応募締切：3月下旬

謝礼：薄志あり

申込み：市民活動センターたちかわ（渋谷）

TEL.042-529-8323

情報をお寄せください！みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください

ひと・モノ・募集

2004たちかわみんなの音楽祭 ボランティア募集!



人々が明るい
将来への希望を
見出しにくい環
境の中、心の響
きあい、共感、
信頼そして協働
を求める人々が
作り出した音楽

祭「たちかわみんなの音楽祭 春わくわく」ではこの開催を応援して下さるボランティアを募集しています。多くの方のご協力をいただきたいと思います。詳細はお問合せください。

開催日時：平成16年4月25日(日)
お問い合わせ：市民活動センターたちかわ(渋谷)
TEL 042-529-8323

助成金情報

この通信でお伝えしてきました助成金の情報ですが、紙面以外にもたくさんの助成情報がございます。インターネットを御覧いただける環境をお持ちであれば、それらの情報をより細かく、たくさん閲覧することが出来ます。(インターネットは中央図書館などでも利用できますが、市民活動センターのフリースペースでも御覧いただくことが出来ます。)よく更新されているサイトは以下のとおりです。

東京ボランティア・市民活動センター「ボラ市民WEB」 URL: <http://www.tvac.or.jp>
シーズ=市民活動を支える制度をつくる会「NPOWEB」 URL: <http://www.npoweb.gr.jp>
財団法人助成財団センター URL: <http://www.jfc.or.jp>

今月等センターに届いた案内は・・・財団法人ヤマト福祉財団「障がい者福祉助成金」

(1)一般助成(2)ボランティア活動助成(3)障害のある大学生に対する奨学金の供与

—————上記のサイトより検索可能です。申請書式もダウンロードが可能です。

みなさまのまちの助成・補助事業について

立川市の助成事業はどのようなものがあるか市のホームページで見ると・・・

教育委員会 - 特色ある生涯学習活動奨励補助

先進性をもった調査・研究活動、一般市民を対象にした研究会・発表会・研修会の開催、一般市民の啓発を目的とした広報活動、これからのまちづくりを考える活動、特色ある地域の伝統文化を継承する活動、独創性をもった学習イベントなど補助対象経費の1/2以内の額を5万円以上10万円以下の範囲内で補助する。

(問い合わせ先)生涯学習課生涯学習係 電話 042-523-2111(内線343)

立川市子ども育成活動事業費補助金

補助の対象とする団体は、立川市子ども会連合会加盟の地区子ども会育成者連絡協議会及び立川市ボーイスカウト・ガールスカウト育成会とする。

(1)単位子ども会支援事業 (2)ジュニア・リーダー活用事業 (3)社会参加事業

(4)伝統・伝承行事 (5)交流事業 (6)その他子どもの健全育成に寄与する事業

補助金の額は、補助対象経費の100分の50以内の額とし、予算の範囲内で交付する。

資源再生利用補助金

市民の団体が再利用できるごみを収集し、再生資源取扱業者へ引き渡した場合、その実績に応じて補助金を交付しています。補助額はアルミ缶 1kg 50円、牛乳パック 1kg 9円など。

(お問い合わせ先)ごみ対策課 電話 042-531-5518

などなど他にも市内の補助金・助成金情報あります。詳しくは立川市のホームページを御覧ください。

情報をお寄せください! みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください

市民活動センターたちかわより

市民活動センターたちかわ助成事業について

ご応募をお待ちしています！

受付締切は4月16日（金）午後5時到着分まで

本年度もみなさまからの寄付金や社会福祉協議会の会費を財源とした市民活動センター助成事業を行います。
<実施目的は・・・>

市民活動を行おうとする団体の設立及び市民活動団体の多様な活動に対する助成をおこなうことにより幅広い市民の参加及び市民活動の活性化を図り、地域福祉の推進に寄与することを目的とする。

<応募資格は・・・>

市内に活動拠点が設置されているか、または立川市民を対象に活動をする5人以上の会員等で構成されている団体。

詳細は要綱・チラシを御覧ください(市民活動センターのほか、伊勢丹立川店6階の社会福祉協議会事務所などにも置いてあります。)インターネットの接続環境がある方は市民活動センターたちかわのホームページからもダウンロードが出来ます。

そろそろ切れます！ ボランティア保険

一年間低額な料金で加入できるボランティア保険ですが、当センターで取り扱っているボランティア保険は加入時期に関らず、年度末で期限が切れてしまいます。

ボランティアグループなどで一括でご加入される場合など、加入希望者の名簿などをそろそろご準備されるとお手続きがスムーズです。年度の早い内から加入すればお得です。

(16年度分ご加入受付は3月15日より承ります)
保険料など詳細は3月5日以降にお問合せください



ボランティア保険加入証は廃止となりました。

登録の確認をお願いいたします

登録をいただいている団体・グループのみなさまに発行しております登録証の有効期限は3月31日で切れます。この登録証は学習等共用施設が無料でご使用いただけるほか、貸し出し機材の割引を受ける際に必要なカードです。

登録の更新については3月中にご通知いたしますが、登録が遅れる場合はご注意ください。またメンバーや役員などに変更があった際は、お知らせいただきますようお願いいたします。

新規に登録を希望される団体は市民活動センターまでご連絡をください。



15年度は支え合いサロンのキャラクターでした

情報をお寄せください！ みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください

『市民活動センター たちかわ通信』を常設しているところ(下記の場所で受け取ることができます)

立川市社会福祉協議会・市内各公民館・図書館・福祉会館・学習等共用施設
フレンド書房・セイフー立川若葉店・モスバーガー立川高松町店・ローソン若葉町一丁目店
トヨタ西東京カローラ立川富士見町店・東京ボランティア・市民活動センター

* * 配布部数には限りがございますので、ご注意ください! * *
* * 「通信を店舗においてもいいよ!」というお申し出を心よりお待ちしております * *

一部地域に新聞折込をさせていただいてます

Y C 読売新聞立川北部サービスセンターの皆様のご好意により、
読売新聞をご購読の方は折込にて配布されます。(栄町・高松町・曙町の一部)

そのほか『市民活動センター・たちかわ通信』を読むには・

直接送付を希望! >> 1ヶ月100円(通信紙代・郵送代含む)にてご自宅まで郵送いたします。
インターネットで見ると! >> 市民活動センターたちかわのホームページよりご覧いただけます。
インターネットの接続環境がある方はURL <http://act.annex-tachikawa.com> よりどうぞ。
登録団体となる! >> 登録グループには無料にて5部を上限として郵送させていただきます。

会議にイベントに・
是非ご利用ください!



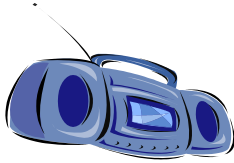
貸し出しスペースについて

- ・ボランティアルームふじみ(立川市総合福祉センター内)
- ・ボランティアルームしばざき(立川市シルバー人材センター内)
- ・事務所前のスペース(活動センター前・無線でインターネットがご使用になれます。)

申し込み方法

事前にお電話が来所にてお申込みください。先着順とさせていただきます。
(登録グループは優先予約あり)

備品の貸し出しについて



貸し出し機材について

A1 拡大コピー機が好評です。パソコンでの入力も可能です。
印刷機の空き状況はご確認ください。大量使用は必ず事前にご予約ください。
そのほかの貸し出し物品については利用案内・ホームページを御覧ください。

申し込み方法

事前にお電話が来所にてお申込みください。先着順とさせていただきます。

保険の加入について



「ボランティア保険」「行事保険」受付しています。

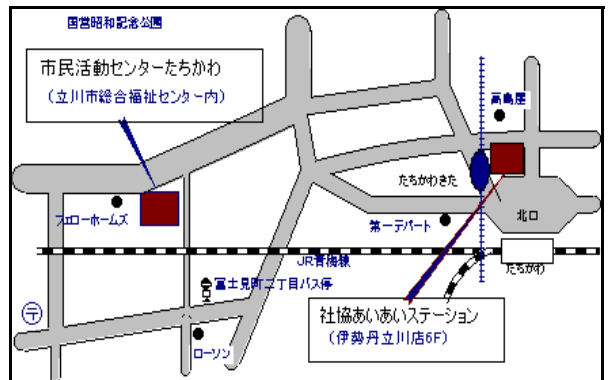
個人で加入するボランティア保険や、行事主催者が加入する保険についての受付を行っております。保険料や各プランなど詳細はお問い合わせください。

申し込み方法

行事保険の保険料については行事の開催前に、郵便局での振込が必要となります。振込用紙をお渡しいたしますので事前にご来所下さい。

編集後記

先月29日の播磨靖夫氏による講演会、お聞きになりましたか? 本号発行の後のことなので私はまだですが、きっとすばらしかったことと思います。その播磨氏が理事を勤める「たんぼの家」でオーディションを行い、特別なワークショップを2ヶ月間行ってきたメンバーが、エイブル・アート・ジャパン(東京都中野区)を中心として今月都内で舞台発表を行うようです。講座を聞きそびれたあなた、アートに出掛けてみてはいかがでしょうか?(し)



交通アクセス: JR立川北口駅より徒歩15分、JR西立川駅より徒歩8分。北口バス停 乗り場、富士見町2丁目下車徒歩4分。立川市女性総合センターアーム前ぐるりんバス、南ぐるりん左回り乗車。『総合福祉センター前』下車徒歩0分、平日は無料シャトルバスが立川駅北口バスロータリー交番前より9:50、10:30、11:10、11:50、13:10、13:50、14:30に出ています。

情報をお寄せください! みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください